



様式第7号

厚生産業委員会行政視察報告書

令和4年8月26日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 大山 盛久 (印) 議員 藏本 隆文 (印)
議員 齋藤 一信 (印) 議員 坂本 亮平 (印)
議員 仁科 文秀 (印) 議員 原田つよ (印)
議員 東川 三郎 (印)

次のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 広島県府中市議会

住 所	広島県府中市府川町 315 番地
電 話	0847-43-7172
視察案件	子育てステーション, i-coreFUCHHU について
期 日	令和4年8月23日(火) 13時50分～16時10分まで
応 対 者	経済観光部 i-coreFUCHHU 推進課長 近藤和成 氏 健康福祉部ネウボラ推進課長 山田資子 氏 府中市議会事務局長 皿田利光 氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	i-coreFUCHHU, 子育てステーション
概 要	(1) 概要 始めに, i-coreFUCHHU 研修室において府中市議会議長加藤吉秀様から御挨拶をいただいた後, ①概要説明, ②施設見学, ③意見交換・質疑応答の順に行った。全体の進行は, 府中市議会事務局長皿田利光様が行った。

①概要説明

i-coreFUCHU 及び子育てステーションちゅちゅの整備計画、整備内容、開設までの検討過程、実際の運営等について説明があった。i-coreFUCHHU の整備は、府中駅前中心とした市街地のまちづくり、活気と賑わいづくりを主目的としたものであり、子育てステーションちゅちゅの整備は、子育て支援施策としてネウボラ整備を主目的であること等の説明があった。

②施設見学

i-coreFUCHHU 及び子育てステーションちゅちゅの施設を見学した。i-coreFUCHHU は芝生広場を中心とした屋内公園をイメージした施設整備であった。子育てステーションちゅちゅは利用者と実務者の双方の立場を考えたゾーニングがなされた回廊型の施設であった。

③質疑応答・意見交換

事前に提出していた質問項目に対する回答をいただいた後、その他の事項についての質疑応答及び意見交換を行った。(事前に提出した質問項目については添付のとおり)

その他の事項として、現在無料となっている利用料金を徴収すること、利用者の目標設定について、シャワー効果について、防災機能について、議会等との審議について、施設の目的達成の判断について等の質疑があった。i-coreFUCHHU については条例上の料金設定があるが、現在は市長が特に認めるものとして無料としている。今後の運営等を勘案して、料金は徴収する方向で検討しているとのことであった。利用者目標については活気・賑わいづくりとして10万人を掲げており、コロナ禍ではあるが達成できている状況であるとのことであった。シャワー効果については、現在数値等は算出しておらず、コロナ禍の状況のため、はっきりとした効果は不明であるが、客層が若返っているという声があるとのことであった。防災機能については、検討はされたものの施設内を防災施設として使用することは警備等の関係で不可能であるとのことであったが、建物3階の駐車場は避難施設として利用できる協定を結んでおり、食料調達についても協定を結んでいることから、今後包括的な協定へ移行していく可能性もあるとのことであった。議会等との審議については、議会において賑わいづくり特別委員会の設置、民間の有識者を交えた賑わいづくり検討委員会の設置等によって、議会、市民と活発な意見交換及び情報交換ができる仕組みが作られていたとのことであった。

(2) 所感

i-coreFUCHHU と子育てステーションちゅちゅは施設としては一体のものであるが、それぞれに目的を持った施設であることがわかった。施設の目的は別ではあるが、府中市総合計画で統括され、基本目標として掲げられた目標に向

	<p>かつて事業が進められている。活気・賑わいづくりを目標に、市内の既存の様々な施設との関連、将来的な見込み等の要素を勘案して事業が実施されており、また、事業実施に当たっては議会を含めた様々な意見が反映される仕組みを作り、積極的な情報提供を心がけられていたことがわかった。</p> <p>今回の視察を、本市で提案されている子育てステーション整備事業の審査に活かしていきたい。</p>
添付書類	<p>視察資料 視察状況写真 名刺</p> <p>○ ○ ○</p>